

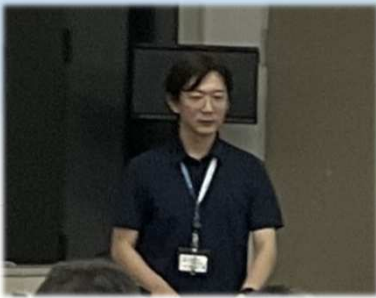
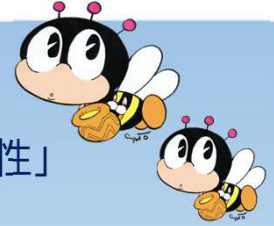
地域の教育力向上研修

「子育て支援に関する講座【東信:小諸市】

子育て、親育ち、親子の絆、あるいは子育て支援のあり方等について考え合う学習を進め、子どもや若者、家庭を支援するために地域の大人としてできることを考えました。今回は、小諸市人権同和教育研修講座において開催し、子どもたちを取り巻く環境について理解するとともに、子どもの自立を育むため、同じ地域に住む大人としてどのように接していけばよいかなど特に子どもの人権を中心に学びました。(受講者数 59名)

〈研修内容〉

○講演 演題 「子どもの人権は誰が守る
～これからの社会における『対話』の可能性」
講師 公立大学法人 長野大学
社会福祉学部社会福祉学科 教授 早坂 淳 氏



受講者アンケートから

- 人権を守ること、対話の方法を知る機会になればと参加したが、どうして必要かということを知って良かった。(市町村職員)
- とてもおもしろい話だった。学校が当たり前でなくなっているときにどうしたらよいかと考えた時に、どう変化させるか、社会を一変させることができないもどかしさを感じた。(公民館職員・公民館関係者)
- 楽しく拝聴しました。「人権」でイメージする講演とは違って、新しい視座をいただきました。(公民館職員・公民館関係者)
- 大人達の子どもに対するやるべきことの方向性を学んだ。(公民館職員・公民館関係者)
- いままででない視点で考えることができた。子どもたちの人権は私たち一人ひとりが守ることを気付くことができた。(諸団体)
- 世の中の変化をざっくり理解できた。今の子どもたちと、楽しくすごす。子どもとの楽しいことを繰り返し、一緒にすごす。どの子も一緒にみてあそぶ。楽しいことをみつける大人になる。(幼・保・こども園)
- 時間を忘れる会でした。子供も大事の前に自分の脳を柔らかくしなければと思います。頭が久しぶりに動いた気がします。(公民館職員・公民館関係者)